

平成30年度 市野与進こども園事業計画

増築改修も無事に終了、新しい環境の中で定員140名から180名となり、年度当初は180名の募集することが決まりとなっておりますので、園全体で49名の募集をしました。そして 3歳以上児29名募集のところ 6名 未満児 20名の募集をしたところ 20名の入園が決まり、152名のスタートとなります。

さて 浜松市は平成31年度には待機児童ゼロを打ち出し、新設園や定員増を毎年のように行っている、一向に減る状況にはなっていないようです。

また 民間園長会での入園児童数の推測として、31年度に待機児童がゼロになったとしても、入園児童は横ばいに推移していくのではないかと考えています。

社会状況からみていくと「ゆっくりと減少していくのか」「急激に減少」するのか予測が非常にむずかしく、園の運営の基盤をどこに置くのか今から考えておく必要があると思います。

そこで 平成30年度は保育指針、幼稚園教育要領・認定こども園教育・保育要領の改訂に伴い「教育・保育の質と保育教諭の資質向上元年」と考え、人事考課を視野に入れながら自己チェック方法を変えていきたいと考えております。

今まで通りかわらず「魅力あるこども園づくり」を大きな課題として、①「教育・保育の質の向上」②「保育教諭の働きやすい職場づくり」③「地域にねぎした園づくり」をめざし、30年度は、今までとは異なる奥行きのある園運営を実施していきたいと考えております。

法人の理念

「子どもは一人ひとりがあらゆる可能性を持っている宝であり、わが国の将来を担う希望である。私たちの目指すものは、その子ども一人ひとりにあつた豊かな発達を促すことである」

こども園の理念

「利用者の立場に立ち、人と人とのつながりを大切にしながら 子どもの発達を促す教育・保育」

重点目標及び重点施策への取り組み

「魅力あるこども園づくり」を最大の課題の中で

① 保育教諭と教育・保育の質の向上

自己チェックの見直し…………自己チェックと人事考課と併用し、処遇改善Ⅰ・Ⅱを生かしながら「保育の質・保育教諭の資質」にどうつなげていくかを課題とする。

人事考課の在り方…………第三者と当事者との評価を比較をしながら、いろいろな角度から精査していく
教育・保育の記録の取り方、活かし方…………記録を保育の中にどう生かしていくのか今後の課題としてとらえる
園内研修にレッスンスターディー・ビデオカンファレンスに挑戦をする

教育・保育課程から指導計画(年間指導計画・月案・週案・日案)に至るまでの徹底指導

② 保育教諭の働きやすい職場づくり

効率よく仕事を進める。…………年次休暇を取りやすくする。

③ 子育て支援

利用者の子育て支援…………子どもの発達過程を通して「子どもの心育ち」を大切にする、「親子ふれあいの日」を設定し、スキンシップをかねながら子どもの心の変化に気付いてもらえるよう、親・保育教諭の大人とのふれあいに力を入れていきたいと考えています。

地域子育て支援 ……………地域子育て親の一番大切なことを「子どもが人として生きていくために」と題して絆ができるふれあい遊びを引き続く実施

離乳食教室…………手作りの離乳食、おやつ の作り方教室

ベビーマッサージ…地域の子育てをしている母親にベビーマッサージを通して「子どもの心育ち」を伝える。

助産師による妊婦相談・子育て中の母親悩み事相談室の開催

30年度 事業計画

法人の基本方針	概 要	内 容
<p>1. 保育サービスの質の向上</p>	<p>① 新保育指針、認定こども園教育・保育要領、放課後児童クラブ運営指針(以下保育指針等)に沿った保育の実践</p> <p>② 国、市の方針、環境変化に応じた園の経営</p>	<p>保育・保育教諭の質の向上を目指し</p> <p>★ 認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領、保育指針改正に向けた研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ こども園教育・保育要領研修 ◇ 保育教諭主導の「させる保育」から子ども自ら「やってみよう保育」へ ◇ 園内研修・・・レッスンスターディーの実施 ◇ 保育に生かせる自己チェックと人事考課・保育評価の併用 子どもの「今」を大切に「子どもの心育ちと受け止め」 ◇ 「食育」計画にそって実践 ◇ 事故防止からくる子どもの育ち分析・・・ (事故報告・ヒヤリハット研修の中で保育の見直し) <p>「教育」</p> <p>★ 情緒の安定と5感を大切にしながら「挑戦する気持ち」、「意欲」、「体験する楽しさ」を育てる。 (見る→意欲(やってみよう)→真似る(おもしろい)→学ぶ)</p> <p>★ 3歳以上児の教育・保育テーマ 「意欲を持って何にでも挑戦する子を育てる」保育教諭は一人ひとりの関わりを大切にしながら、保育教諭の思いと子どもの思いを絡み合わせ、「明日につながる振り返り」を行う。</p> <p>「養護」</p> <p>★ 情緒の安定や大人との信頼関係を図りながら、日々心安らかに安心して生活を送る。</p> <p>園の目標にある根底</p> <p>★ 教育・保育 (生きる力の基礎づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 遊びを通して人としての育ちを大切にしながら、園での教育・保育の在り方をしっかりと認識しながら「生きる力」の基礎を育てる <ul style="list-style-type: none"> ・人との関わり・・・ ・自分の思いを言葉にする ・集団生活や遊びのルールを守る ・相手を思う気持ちを育てる ・基本的な生活習慣の確立 <p style="text-align: right;">} を育てる</p> <p>★人としての基本的マナーを身につける (あいさつ・履物を揃える・自分の持ち物の整理整頓など) 平成31年度に向けて1号認定受け入れ準備</p>

法人の基本方針	概 要	内 容
	<p>③ 保護者への積極的な子育て支援</p> <p>④ 保育環境の整備</p> <p>⑤ 環境を守る取り組み</p> <p>⑥ 行政に向けたタイムリーな情報発信</p>	<p>★ 親育ちを考える。(子どもが人として育つために)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 子育て支援を実施するとともに子どもの「心育」の大切さを知らせる ◇ 子育てに大切なこと・職員による親子触れあい遊びの提唱 ◇ 祝日保育の実施 <p>★ 保育環境の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 子どもの育ちと教育・保育のねらいの環境構成 ◇ 職員配置の充実・・・0歳児 3 対 1に1名加配 1歳児 5 対 1 ◇ 土地購入にあたって園庭・駐車場整備の計画 <p>★ 社会状況・経営状況を1人ひとり把握し、職員全員ができることから始める</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 節電対策・・・電力会社情報資料の有効活用と職員伝達 ◇ ゴミの省力化 職員・3歳以上児に「自分のポケットにハンカチを」運動実施 ◇ 園児たちに資源の大切さを知らせる 水の出し出っ放し・漏水等の確認 ◇ 家庭での空き缶回収 <p>★責任者は運営状況をHPや閲覧しやすいように提示する。</p> <p>★地域・利用者・就職希望者に向けた教育・保育内容が見える園 ホームページを通して、子どもの笑顔、行動など様子がしっかりと伝わるように伝え方を工夫する。</p> <p>★教育・保育のプロセスを保護者に伝える (園の考えや保育教諭の思い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 教育・保育の様子をよりイメージしやすく伝える ◇ エピソード記録に基づき、ボード・ホームページ・クラス便り・行事・教育・保育の取り組み発表・園内掲示利用して伝える ◇ 正規・非常勤・パート職員も含めて教育・保育の記録(1日の振り返り)の取り方の研修
<p>2. 職員の確保・育成</p>	<p>① 職員の働きやすい環境づくり、待遇改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 早期採用計画を明確にする。各園の情報収集を行う ★ 4月に行う県保連・浜松民間園長会主催の合同就職説明会の有効利用を行う ★ 法人全体、職員全体で、積極的な新規採用活動を実施する。 ★ 新規採用募集要項を見直しながら計画を立案する ★ 職員の給与改定による処遇改善を進める。 ★ 責任を明確した役割分担 ★ 面談・対話を通し、園長・主幹教諭に意見を言いやす環境を作る ★ 正規職員・パート職員が自己発揮できる職場づくり ★ 有給休暇を取りやすい人事配置を行う。 ★ 結婚・育児のしやすい職場環境の構築

法人の基本方針	概 要	内 容
	<p>② 計画的な研修</p> <p>③ 採用関係等対外的にタイムリーな情報発信</p>	<p>★「選ばれるこども園」をめざした人材育成をする。園内研修の充実</p> <p>★ こども園教育・保育要領改正に向けた法人研修</p> <p>★ 実行・実践を確実に自己チェック分析</p> <p>★ 食育計画作成後の実践食育研修（年4回 吉田たか子氏）</p> <p>★ ふれあい遊びのための研修・・・年2回</p> <p>★ 正規職員・パート職員がともに同じ研修に参加 (正規・パートとの区別なく全員が研修に参加ができるよう配慮)</p> <p>★ 処遇改善 I・IIを生かしたキャリアパス実施の研修充実計画</p> <p>★ 職員間での情報を共有する。</p> <p>★就職希望者に向けた教育・保育内容が見える園</p> <p>ホームページを通して、子どもの笑顔、行動など様子がしっかりと伝わるように伝え方保育をわかりやすく工夫する。</p> <p>採用者にわかりやすく求人情報提供をする。</p> <p>園見学を参加しやすくする</p>
<p>3. 地域への貢献</p>	<p>① 地域貢献活動の充実</p> <p>② 地域に対するタイムリーに情報発信</p> <p>③ 環境を守る取り組み</p>	<p>★ 親子ひろばのプログラムの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 手作り離乳食とおやつと試食会 ◇ 妊婦懇談会(マタニティーカフェ)・・・妊産婦と助産師及び職員懇談会 ◇ 子育て中の親と職員の交流会(マザースクエア) ◇ 親子触れあい遊びクラブ 1歳～2歳 ◇ ベビーマッサージ・・・子育てに大切なこと。・1回コース ◇ 保育参加・・・子どもとの関わり方や遊びの様子を見て、家庭での子育ての参考にしてもらう。園の保育内容を見て、感じてもらう。 ◇ 地域ボランティアの活用とこども園 教育・保育の情報発信をする <p>★地域・利用者に向けた教育・保育内容が見える園</p> <p>ホームページを通して、子どもの笑顔、行動など様子がしっかりと伝わるように保育の伝え方を工夫する。</p> <p>★教育・保育のプロセスを今後利用しようする人にわかりやすく伝える (園の考えや保育教諭の思い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 教育・保育の様子をよりイメージしやすく伝える ◇ エピソード記録に基づきホームページ等・教育・保育の取り組み発表・園内掲示利用して伝える (園の考えや保育教諭の思い) ◇ 子育てボランティアの活用 ・親子広場での育児相談 ◇ 待機児童保護者及び将来保育園・こども園に預けたい保護者に情報提供。保護者の悩みの共有・支援

4. 法人、基盤強化	① 経営の把握と無駄の排除 ② 国、市の方針、環境変化に応じた園の経営	★予算は現状を想定しながらバランスよく考え立案をし、健全なこども園運営を行う。 事前調査をしっかりと行い、計画的に予算編成をする ★責任者は職員に運営状況を丁寧に説明する ★ 区の情報を確認しながら環境の変化に対応 ★ 園長会・近隣園と情報交換及び情報共有
-------------------	--	--

3歳未満児は月齢でクラス編成 4/1現在

クラス名	こもも組	もも組	みかん組	れもん組	あか組	あお組	しろ組	合計
園児歳児別	0歳児－ 12 1歳児－5	1歳児－ 16	1歳児－8 2歳児－14	2歳児－ 18	3歳児	4歳児	5歳児	
組人数	17	16	22 障害 A	18	32 障害 A	25	22	152
職員数	5	4	4	3	3	2	2	23

※ 特別障害児 3歳児に1名 2歳児に1名

園児数

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
人数	12	29	32	32	25	22	152

新入園児……26人

職員数

園長	主幹保育 教諭	副主幹 教諭	保育教諭	栄養士	調理員	事務員	用務員	育児休業	合計
1	1	1	22	1	4	1	1	4	36